

## 現 状

- ◆エネルギー・食料の安定供給や安全安心に対する関心の高まり
- ◆社会経済活動の本格的な再開やDX・GXなどの活用の広がり
- ◆本道の優位性や地域の魅力に対する評価や重要性の高まり

など

## 主な政策課題

- ・ 一次産業の持続的な発展
- ・ 地域医療や福祉の充実
- ・ 災害への対応
- ・ 地域交通の確保
- ・ こども応援社会の実現
- ・ デジタル技術の活用と産業集積
- ・ ゼロカーボン北海道の推進
- ・ 足腰の強い地域経済の構築
- ・ 強みを活かした産業の創出・振興
- ・ アイヌ文化や縄文文化の発信
- ・ 食・観光の国内外への展開
- ・ 人材の確保、育成
- ・ 教育環境の充実
- ・ 関係人口の更なる拡大

など

# 令和6年度に向けた政策検討の基本的な視点(案)

## 具体的な視点

～令和5年度の政策を加速し、さらに前へ～

- ① 安全・安心な道民の暮らしの確保に向けた機動的な対応
- ② 本道への追い風を活かした成長産業の創出や需要の取り込み等
- ③ 地域のポテンシャルの発揮と波及効果の創出

## 留意事項

- ◆ 地域の声を踏まえた施策の検討
- ◆ 客観的データを用いた施策検討
- ◆ 新たな総合計画の検討との連動
- ◆ 国の制度の積極的な活用
- ◆ 道庁が所有する様々な資源の活用
- ◆ 官民連携の取組の一層の推進